



輝き人生

このコーナーではきらりと輝きながら活躍する市民を紹介します。

好きだから続けられた
アートは、自分のすべて

やまだ ふうが
山田 風雅さん (和田町)



令和4年5月、第21回三重県文化賞の美術分野(彫刻・立体造形)で文化新人賞を受賞した山田風雅さん(24歳)。大学在学中の平成30年には、「みえ県展」で最優秀賞を受賞し、令和2年には「二科展」で入選を果たしました。現在は、県立高校の美術科非常勤講師として働きながら、積極的な創作活動を続けていることが評価され、今回の受賞につながりました。山田さんは、今秋開催される公募による現代アートの芸術祭「亀山トリエンナーレ2022」の実行委員でもあり、今後の活躍が期待されています。

—芸術活動を始めたきっかけは？

保育園に通っていたころ、母親の「自分で描いてみたら？」の一言から絵を描くようになり、小学1年生から6年間、子ども絵画教室に通いました。

その時、教室で教えてもらった「自由に絵を描く楽しさ」が芸術にのめり込むきっかけになりました。

—彫刻・立体造形との出会いは？

絵を描くことが好きで、県立飯野高校応用デザイン科に進学しましたが、1年生の時、梓にとらわれず、自由に作品を作り、いろいろな素材の変化と向き合う彫刻に新鮮さと興味を感じて、彫刻コースで学ぶことを選びました。

—作品づくりへのこだわりは？

幼い時から大好きな動物や恐竜をモチーフに、生命感や独特のフォルムを伝えたいと思って、大小さまざまな作品を制作しています。手軽に集められる材料として海で拾った流木を使ったり、動物の毛並みの感じを出したいときには木くずや砂とボンドを混ぜた材料を使ったりして、自分なりの作風は現在進行形で日々変化しています。

—芸術活動の楽しさは？

モチーフにした動物や恐竜について、自分なりに考えたカッコよさが表現できたときに楽しさを感じます。制作過程

によっては、8割ほど作り上げた作品が上手いかず、やり直すこともあります。それでも作品についてあれこれと考えている時間が楽しいです。

—今後の目標について

まずは、コロナ禍で2年延期となり、この秋に開催する「亀山トリエンナーレ2022」について、参加アーティストが自由に表現できて、見に来てくださる人に何か感じ取ってもらうことができるよう、みんなが安心して楽しめるイベントに向けて準備を進めていきたいと思っています。

その先は、今回頂いた文化新人賞を誇りに、自分が作りたい、自分らしい作品を作りたいと思っています。そして、自分と同じような若い世代の人たちが、好きなことにとことん打ち込めるような芸術活動の環境づくりにも関わっていかれたらと思います。

お知らせワイド

市民参画協働事業推進補助金

「新たに市民活動を始めてみたい」、「今後さらに活動を拡大したい」など、活動資金でお困りの市民活動団体は、ご相談ください。

問合先 まちづくり協働課
市民協働グループ(☎84-5008)

令和5年度 補助金交付希望団体を募集します！

市は、公益性のある活動を行っている市民活動団体に補助金を交付しています。市民が互いに、または市民と行政がそれぞれの持つ特性を生かしながら、住みよいまちにしていくことができるパートナー(市民活動団体)の育成を目的とします。

補助金対象年度 令和5年度

※補助金交付団体は選考により決定します。

募集期間 7月1日(金)～29日(金)

応募資格 次の要件をすべて満たす団体

- ▷市内に在住、在勤または在学する3人以上で構成された団体
- ▷活動拠点が市内にあり、市内で活動している団体
- ▷政治、宗教、営利を目的にしない団体
- ▷市の補助金(市民参画協働事業推進補助金を除く)や、社会福祉協議会の助成金を受けていない団体

交付限度額

スタートアップ補助金

5万円を限度とした活動費の補助

※1団体につき1回限り応募可

※令和3年度以降に新たに結成された団体が対象です。ただし、過去に解散した団体が、同じ目的で再結成した場合は応募できません。

ステップアップ補助金

活動費の50%に相当する額を限度として補助

※1団体につき最大3回まで応募可

応募方法 応募書類に必要事項を記入の上、まちづくり協働課市民協働グループ(〒519-0195 本丸町577)へ郵送または持参してください。

※応募書類は市民協働センター「みらい」ホームページ([URL http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/index.html](http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/index.html))からダウンロードできます。